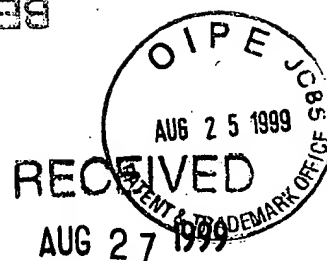


BEST AVAILABLE COPY

An English Translation of an Excerpt from Reference A
(Japanese Laid-Open Patent Application No. H9-172658)



[Abstract]

TECHNOLOGY CENTER 2800

[Object] To provide a key telephone system having a display means capable of multilingual display to cope with different areas using different languages.

[Features] A database is provided in which different languages are stored. At power-on, a message is displayed in an initial language on a display means. In this state, when a language change key is operated, a corresponding index of the database is designated (21-23), and the language corresponding to the designated index is read out to change to that language the language in which the display means displays messages (24). The initial language can be changed to a desired language by simple key operation, and thus a single key telephone system can cope with different countries using different language.

[Means for Solving the Problem]

According to the present invention, different languages are stored in a database, as realized with ROM, provided within the system so that display is achieved by reading one of those languages as required. That is, a key telephone system according to the present invention is provided with a database in which different languages are stored. At power-on, a message is displayed in an initial language on a display means. In this state, when a language change key is operated, a corresponding index of the database is designated, and the language corresponding to the designated index is read out to change to that language the language in which the display means displays messages.

(10) 日本国特許庁 (J P) (12) 公開特許公報 (A) (11) 特許出願公開番号

特開平9-172658

(33) 公開日 平成9年(1997)6月30日

(51) Int. Cl. ⁴	H 04 Q 3/58	識別記号	107	庁内整理番号	F I H 04 Q 3/58	107	技術表示箇所
----------------------------	-------------	------	-----	--------	-----------------	-----	--------

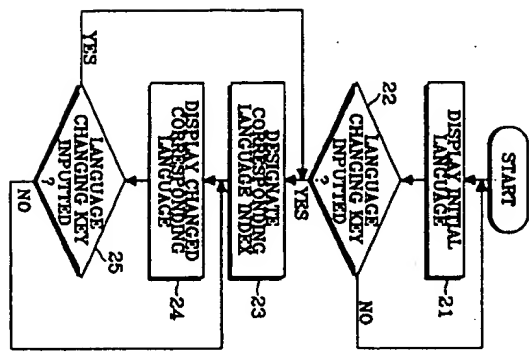
審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

21) 出願番号	特願平8-222134	(71) 出願人	390019839 三昌電子株式会社 大韓民国京畿道水原市八達区海陽洞416
(22) 出願日	平成8年(1996)8月23日	(72) 発明者	金 秀 福 大韓民国慶尚北道豊基市松亭洞44番地
(31) 優先権主張番号	1995 P 26431	(74) 代理人	弁護士 高月 延
(32) 優先日	1995年8月24日		
(33) 優先権主張国	韓国 (K R)		

(54) 発明の名称 キーテレホンシステム

(57) 要約

【課題】 表示手段の言語表示が言語の異なる多数の地域に於て可能なキーテレホンシステムを提供する。
【解決手段】 多種類の言語を記憶したデータベースを備え、電源オンにより初期設定の言語を用いて表示手段に表示をした状態で言語変更キーの入力があるとこれに応じてデータベースのインデックスを指定し(21~23)、そしてその指定インデックス該当の言語を取出して表示手段の表示言語をその取出した言語に変更する(24)。この初期設定の言語を簡単なキー操作で所望の言語へ変更することが可能なので、1種類のキーテレホンシステムで多数の言語の国に対応することができようになる。



【特許請求の範囲】
【請求項1】 多種類の言語を記憶したデータベースを備え、電源オンにより初期設定の言語を用いて表示手段に表示をした状態で言語変更キーの入力があるとこれに応じて前記データベースのインデックスを指定し、そしてその指定インデックス該当の言語を取出して前記表示手段の表示言語をその取出した言語に変更するようにし、たことを特徴とするキーテレホンシステム。
【発明の詳細な説明】

【0001】
【発明の属する技術分野】 本発明はキーテレホンシステム(KEY TELEPHONE SYSTEM)に関し、特にそのLCD等の表示手段の表示方法に関する。

【0002】
【発明が解決しようとする課題】 キーテレホンシステムには、LCD等の表示手段が備えられ、この表示手段による文字表示で各種機能及び動作状態を表示するようになっている。ところが従来では、その表示手段の表示言語は製造時にセッティングされ、1種類の言語でしか表示できないものとなっている。このため、言語の異なる各個別にそれぞれ製造ラインを別にしなければならなくなっており、また、ある言語の外国に製造されたものを他の言語の国で利用することは非常に不便となる。

【0003】
【課題を解決するための手段】 本発明では、多種類の言語をROM等のシステム内データベースに多重記憶しておき、必要に応じてそのうちのいずれかを取出して表示するようにする。即ち、本発明によるキーテレホンシステムは、多種類の言語を記憶したデータベースを備え、電源オンにより初期設定の言語を用いて表示手段に表示をした状態で言語変更キーの入力があるとこれに応じて前記データベースのインデックスを指定し、そしてその指定インデックス該当の言語を取出して前記表示手段の表示言語をその取出した言語に変更することを特徴とする。

【0004】
【発明の実施形態】 以下、本発明の実施形態につき添付図面を参照して詳細に説明する。
【0005】 図1は、キーテレホンシステムのブロック図である。図示のキーテレホンシステムは、キーサービスユニット(Key Service Unit: KSU)とキーテレホンセット(Key Telephone Set: KTS)とに大別される。
【0006】 キーテレホンシステムのKSUは、システムの諸機能を行うためのプログラム及び設定データベースを記憶しているROM10と、各サービス等級、システムモード、プログラム、及びデータ処理の順成として用いられ、処理されたデータを一時に記憶するRAM20と、通話スイッチを制御し、各種のサービスを提供する第1中央処理装置30と、電話線11へリンを通じて加入者端末(KTS)と接続されて音声データを伝送するメイン加入者回路(Main Subscriber Circuit)40と、局線と接続されてリンツ線出、ハルス線出、過電圧保護、スイッチング処理を行うトラッキング回路(Track Circuit)50と、トラッキング回路50及びメイン加入者回路40の間の通話路を形成するためのバッファ加入者回路60と、トラッキング回路50、スイッチ回路40、メイン加入者回路40、及び第1中央処理装置30の間のデータ入出力を円滑に行うようにする第1インテークス回路70と、を備えている。
【0007】 キーテレホンシステムのKTSは、入力に於て命令を処理して通話回路部を制御し、1つ送出や各種機能の表示、送受相手データ処理を行う第2中央処理装置80と、KSUからのメイン加入者回路40から供給される電源を各回路部へ中継し、またメイン加入者回路40と第2中央処理装置80との間のデータ中継する第2インテークス回路90と、第2中央処理装置80と第3インテークス回路100との間で通話音声の中継するための第3インテークス回路100と、第2中央処理装置80と第4インテークス回路110と、第3インテークス回路100と接続されて通話を行うハンドセット115と、第3インテークス回路100と接続されてオンフック(on hook)状態の通話を可能とするスウェーチャ1140と、着信音を発生するトーンリッパ160と、ダイヤル番号、P通話時の相手方の通話番号、局線接続の通話番号、留中保留、予約、着信拒否等のメッセージを表示するLEDユニット1110と、ハンドセット1150の状態に電話線接続を制御するフックスイッチ130と、を備えている。

【0008】 図2は、上記のようなキーテレホンシステムにおける表示言語変更の制御フローチャートであり、即ち、電源がオンとなり、各種機能や動作状態を所定の言語で表示した状態において言語変更キーが入力されると多種類の言語を多重記憶したデータベースのインデックスを指定し、そしてその指定インデックス該当の言語を取出して表示手段の表示言語をその取出した言語に変更する過程が実行される。
【0009】 まず、キーテレホンシステムの電源をオンすればステップ21で、各種機能や動作状態をデフォルト(Default)値に従って初期設定の言語(INTL. LANG)を用いて表示手段のLCDユニット1110に表するようにプログラムされている。この状態においてステップ22で、キー入力インデックス20に於ける言語キー(LANGUAGE CHANGING KEY)が入力されるか否かを査し、言語変更キーの入力がない場合はステップ21に戻る。言語変更キーの入力があった場合は、第2中央処理装置80が第2インテークス回路90、メイン加入者回路40、及び第1インテークス回路70を介して第1中央処理装置30へ言語変更キー入力を伝送するとステップ23で、多種類の言語を多重記憶し

[FIG 2]

